



独立行政法人地域医療機能推進機構

東 京 城 東 病 院

令和元年8月発行

Vol.21

じょうとう

〒136-0071 東京都江東区亀戸9-13-1 TEL:03-3685-1431(代)



「新生 総合診療科」

2019年4月より、総合診療科は南郷栄秀科長率いる「新生 総合診療科」にリニューアルしました！

「総合診療」はすべての領域にわたるありふれた病気を診療するものです。

総合診療医は、体の具合が悪くなったり、健康問題が起こったりしたときに、まず相談できる街のかかりつけ医です。当院総合診療科は、地域包括ケアシステムのハブとして、地域の医療機関と緊密に連携しながら、地域で暮らす皆さんの健康を守り、まちづくりにも貢献しています。

「総合診療」という分野は、他の専門科と異なり、現場の置かれた環境に合わせて自分たちの役割を変えていくという特徴があります。当院の総合診療科は、家庭医療の理論に基づき、医学的な病気だけでなく、心理社会的背景にも配慮して、一人の人としての患者さんを診ることを重視しています。

急性期病棟と地域包括ケア病棟を持っているため、地域で暮らすみなさんが急病になったときの初期診療に当たったり、他院で治療を受けた患者さんが地域に戻って暮らす準備をするための入院を受け入れたり、慢性的な病気の継続的な診療を行ったりします。ありふれた病気を中心に、およそ7~8割の患者さんに対応可能ですが、専門的な検査や治療が必要と判断された場合や重症な病気でも高度な治療が必要になる場合には、院内の専門診療科や連携する高次医療機関を紹介するシステムもっており、臨機応変な対応が可能です。

入院診療については、研修医や専攻医と指導医、そして各医療専門職がチームを組んで担当します。綿密に議論を重ねながら診療方針を考え、患者さんご本人とご家族を交えて最終的な診療方針を決めます。また、通院が困難な患者さんなど、必要に応じて在宅医療も提供します。

当科では、EBM(根拠に基づいた医療)を実践しています。最新の研究データ(エビデンス)を踏まえつつ、決してそればかりを頼りにするのではなく、患者さんやご家族のお考えやご希望、当院での臨床経験、当院の置かれている環境などを考慮して、患者さんにとって最善の医療を提供しています。

多様で複雑な問題を抱える患者さんや、ポリファーマシー(多剤併用)、リハビリ、退院支援、在宅復帰などを得意としていますので、他院からの紹介、特に重症でない患者さんの急性期診療、また急性期診療を終えた亜急性期の患者さんも積極的に受け入れています。

「なにかお困りなことがありましたら、まずは私たちにお気軽にご相談ください!」



JCHO東京城東病院 理念・基本方針

(理 念) 皆様に信頼される安全な医療の提供に努めます

- (基本方針)
- 1 患者様の権利と人格を尊重し、患者様中心の医療を実践します。
 - 2 チーム医療を推進し、最善の医療を提供します。
 - 3 リスク管理と安全な医療を推進し、真実の公表をします。
 - 4 医療連携を積極的に推進します。
 - 5 地域の皆様の健康管理を通じ、社会への貢献を目指します。
 - 6 健全な経営に努め、職員が誇りを持てる職場づくりをします。

● 新任のご挨拶 ●

外科 濱野 美枝



4月から外科で勤務を始めました濱野と申します。

いままで東京女子医大八千代医療センターで10年勤め、地域の医療を行ってきました。東京女子医大時代もいけるとかれこれ20年近く大学勤務をしてきたこととなります。

専門は肝胆膵ですが、胃や大腸といった消化管や内視鏡治療、他に栄養療法にも関わり、広く治療を行ってきております。

城東病院は以前勤務していたこともありとても懐かしいです。

患者様に寄り添える医療ができればいいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

整形外科 神谷 光史郎

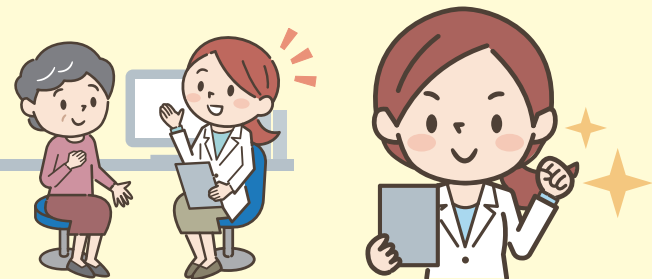


平成31年4月から赴任しました、整形外科の神谷光史郎と申します。平成18年に千葉大学を卒業し、千葉大学と関連病院の勤務を経て、今回当院に赴任となりました。専門は脊椎外科で、主に頸髄症、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症などの手術を中心に行っています。また外来では神経痛などに対して投薬、神経根ブロックなどの

保存療法を行っていますので、お困りの方はご相談ください。患者さんにわかりやすくご説明し、治療法を相談して決めていくように心がけていますので、これからよろしくお願ひします。

整形外科 佐々木 理多

今年4月より勤務させて頂いております、佐々木理多と申します。微力ながら整形外科分野で貢献できるよう頑張ります、どうぞよろしくお願い致します。



整形外科 高橋 正典



地域の皆様こんにちは。平成31年4月より東京城東病院整形外科で勤務させて頂きたくことになりました、高橋正典と申します。生まれは東京ですが、大学以降は神奈川、昨年度1年間静岡県で勤務していたため、久しぶりの東京生活に嬉しく思うところもありますが戸惑う部分もあります。

新天地で慣れない事も多く、しばらくの間外来での手際が悪いかもしれませんが、他の先生方やスタッフの方に御助力いただき精一杯診療をさせていただきます。皆様にとって親しみやすい医師を目指し日々精進させていただきますので、今後ともよろしくお願い致します。

QC大会を開催しました！



平成31年3月14日(木)、職員によるQC大会(※)が行われました。

各部署・委員会毎に計11題の演題が寄せられました。

「防災・ターミナルケア・物品管理・嚙下障害」等、多方面からのアプローチによる医療安全や経営改善のための発表が行われ、多数の職員が聴講し、活発な意見交換も見られました。

発表後、職員による投票が行われ、最優秀賞1題、優秀賞2題が決定し、後日、表彰式を行いました。

今後も、より良い病院運営につながる研究を、職員一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。皆様からのご意見・ご要望もお寄せいただけますと幸いです。

※QCとは？ サービスや品質・安全性の向上などの業務改善活動

新年度の抱負

薬剤部

4月より薬剤部長に就任した鈴木康二郎です。4月より薬剤科改め薬剤部となりました。今年度は病院として「電子カルテ」の導入という大事業を抱えております。導入から円滑な運用まで、紙カルテ時代の課題点を解決しつつ進めていきたいと思っています。パッケージの機能を最大限利用できるように他部門からの意見も参考にしつつ部員共々切り替えに備えていきたいと思っております。



臨床検査科

臨床検査科はスタッフ15名の技師がおります。1階の採血室、生理検査室は患者様に接する機会が多いところです。特に採血室は患者様がなるべく避けたいところかもしれません。病気の診断、治療に欠かせない検査は採血から始まります。侵襲を伴う行為ですが、患者様との対話のなかで不安等が解消できるよう努めてまいります。3階の中央検査室では患者様の診察に正しい結果を早くお届けできるように様々な検査を進めています。2階の健康管理センターでは、皆様の健康管理を通じ予防医学を推進しています。皆様も年に1度は健診を受けましょう。

また、夜間・救急に対応できるよう臨床検査科では24時間体制をとっております。

患者様の目線に立ち、皆様に必要と言われる病院であるようスタッフ一同努力してまいります。



放射線科

こんにちは。放射線科です。

放射線科ではレントゲン撮影、CT、MRI、などの診断画像の撮影を行っています。また、健診では低線量による胸部CT検査や頭部MRIによるスクリーニング検査、女性技師によるマンモグラフィの撮影を行っています。

画像診断のしやすい画像を撮影できるように、放射線科一同努力して参ります。よろしくお祈りいたします。



リハビリテーション科

当院リハビリテーション科では内科・外科・整形外科の患者様の家庭復帰・社会復帰が図れるように機能訓練・日常生活動作練習・摂食嚥下訓練を中心に急性期・地域包括・併設老人保健施設と各時期でのリハビリを行なっています。今年度はフレッシュなスタッフが3人（うち老健1人）入職致しました。平成が終わり新しく令和となるこの節目の年、スタッフにはこれまでの経験を引き継ぎ、新しく入ったスタッフからは新しい風を注入してもらい、より一層地域に根ざしたサービスが提供できるようリハビリテーション科スタッフ一同、心機一転頑張っております。



栄養管理室

高齢化に伴い国の政策も寝たきり予防にシフトし、健康的な生活を送るためには「しっかり食べる事が重要」、とその大切さに年々注目が集まっています。

当院の患者様も高齢の方が多いため、病院、老健でお出される食事では昨年以上に内容、形態に工夫をこらし、十分な栄養量と満足感をご提供できるよう日々努力してまいります。

また、栄養指導では生活習慣病の予防・治療をする上で、筋力低下・骨折予防を念頭においた「元気で暮らせる」ための食事アドバイスが出来るよう心がけたいと考えております。

今年度もよろしくお祈り致します。



地域連携室

令和の時代も江東区の地域包括ケアシステムに貢献できるよう、医療・介護・福祉をワンストップで提供できる当院の強みを活かし、医療機関や介護施設の方々との連携をさらに強めていきたいと思っております。住み慣れた自宅での生活が続けられるよう支援するために、療養中の方の体調不良時の受け入れは勿論、介護者の急病に伴うご相談や介護者の休養（レスパイト）もお受けしております。

ご相談お待ちしております。



新年度の抱負

外来看護部門

城東病院を訪れた方が初めに触れ合うのは外来スタッフです。事務職もコメディカルも看護師も医師も「来てよかったといわれる病院に」を目指した対応を心がけています。ご自宅での生活で不便を感じたり、不安を感じたりした時、外来スタッフにお話してください。住み慣れたご自宅での生活を支える工夫を一緒に考えます。城東病院の外来は、ご病気のことだけでなく、介護のこと、生活のこととも相談できます。



4 F 病棟

消化器外科、内科の急性期病棟です。消化器外科は、週2～3例の手術や化学療法、内科は、総合診療科を中心に高齢者医療や緩和ケアなどを実施しています。患者様の気持ちに寄り添い、退院後の生活にも目を向けた看護をおこなっており、明るく笑顔あふれる病棟です。4月からは新しいスタッフを迎え、気持ちを新たに、『この病棟に入院して良かった』とさせていただける様、今後心掛けていきます。



5 F 病棟・訪問看護室

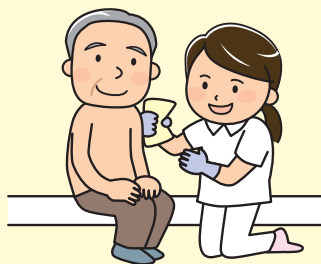
当院の5階地域包括ケア病棟は、平成28年4月に開設されて今年で4年目になります。

急性期治療を終了し、直ぐに在宅や施設に移行するには不安のある患者さま、在宅・施設療養中から緊急入院した患者さまに対して、在宅復帰に向けて診療、看護、リハビリを行うことを目的とした病床です。

医師・看護師・社会福祉士・リハビリチームなど多職種で専門性を出し合って、患者さまのみならず、ご家族の事も考えた退院支援が出来るように心がけています。

訪問看護室では当院をかりつけとしながら在宅療養されている方で、継続的な看護が必要な方へ、当院の訪問看護師が訪問して療養生活のお手伝いをしています。退院後の生活に不安がある場合は、短期間での訪問も可能です。

当院をかりつけとされている地域の皆様が安心してご自宅で過ごせるように「来て良かった」と思っただけの訪問看護を目指しています。



6 F 病棟



6階病棟は整形外科疾患を中心とした急性期病棟です。入院される患者さまは手術目的の方が多く、幼少期から高齢期まで幅広い年齢層の方に個別性に応じた医療と看護の融合によって、最後は笑顔で退院の日を迎えられるように日々努力しています。整形外科の患者さまが多い病棟ではありませんが、最近では内科疾患を抱えられる方も多く、総合診療科の医師や病棟薬剤師との連携が日常的になっています。そして、整形外科にはリハビリテーションと退院調整が欠かせません。PT（理学療法士）、OT（作業療法士）、ST（言語聴覚療法士）などのリハビリスタッフやソーシャルワーカー、退院支援看護師と協力しながら安全で安心できる生活を目指しています。

本年度、新しいスタッフを迎え、より一層患者様に求められる病棟を目指しチーム力を発揮していきたいと思っ

ています。

医療福祉相談室

病気や怪我をすると、健康な時には思ってもみなかった問題や心配が生じてくることがあります。医療福祉相談室では、患者様やご家族がかかえる問題や心配事が解決できるよう、ソーシャルワーカーがさまざまな相談に応じています。昨年度はソーシャルワーカー1名体制でしたが、今年度からまたソーシャルワーカー2名体制になります。患者様やご家族の力になれるよう精一杯頑張っていきますので宜しくお願いいたします。



手術室・内視鏡室

前年度、手術室は約800件の手術を行いました。

医師・看護師・療養介助員が、日々安全で安心な手術室環境が提供できるよう、みんなで協力し合いながら、頑張っています。

今年度は、消化器外科医1名・整形外科医3名、計4名のフレッシュな医師を迎えました。

意欲的な医師ばかりですので、患者様にもより一層良い医療が提供できると思います！

看護師も、手術前・手術後訪問を充実させ、手術を受けられる全ての患者様に安心して手術を受けて頂けるようより一層の努力を致します！



新年度の抱負

健康管理センター

当健康管理センターでは、人間ドック、生活習慣病健診を実施しております。健診受診者様が快く受診できますよう、職員一同、心がけております。

また、江東区の委託を受けて、生活習慣病の予防やがんの早期発見を目的とした「基本健康診査」「乳がん検診」「大腸がん検診」「前立腺がん検診」「胃がんリスク検診」を実施しております。今年度からは50歳を対象とした胃がん（内視鏡）検診も新たに実施しております。

江東区から送付された受診券をお持ちの方は、当院のご利用をお待ちしております。ご予約、その他のお問い合わせは、下記までお願いいたします。

受付電話番号 03-3637-0945(直通)

電話受付時間 平日13:00~17:00の間にお願います。



介護老人健康施設

併設する介護老人保健施設は、病院と在宅をつなぐ「中間施設」です。対象者は要介護・要支援の認定を受けた方で、病院退院後にリハビリの継続を希望する方など在宅復帰を目指して利用する「入所」、ご自宅から通い（送迎あり）で利用する「通所リハビリ」、在宅で介護をするご家族を支援する「短期入所」のサービスを行っています。地域の皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援いたしますので、お気軽にご相談・ご利用ください。

地域包括支援センター

皆さんこんにちは。亀戸東長寿サポートセンター（江東区地域包括支援センター）です。平成29年4月に当院2階に開設し早くも2年が経過しました。益々進む高齢化や核家族化で様々な問題が表面化し悪戦苦闘の毎日ですが、地域の皆様や関係者の方々に支えられ下町情緒溢れる人情厚いこの地域に少しでも溶け込めるようスタッフ5名で一致団結し日々の仕事に取り組んでいます。これからも当センターならではの特色を生かし医療と介護の連携、地域との連携を推進し、より良い地域包括ケアシステムの構築に向けて個別の相談のみならず、介護予防や認知症施策を柱に沢山の地域活動にも取り組んでいきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いします。



居宅介護支援事業所



みなさんこんにちは！今年度着任しました、管理者の今井です。

新しい年号「令和」が穏やかに近づき、「平成」は瞬間に過ぎ去り、「昭和」や「大正」は静かに佇み、見守ってくれています。

この年号の改まった年、抱負として思いを馳せるのは、「水」のような振る舞いを身につけることです。高さ所から低き所へ、競わず、争わず、器によって形を変えることのできる

水。解りやすい言葉を用い、誇らず、状況に応じて柔軟にアイデアを変化させ、地域に住む多くの方の生活を潤すことのできる水。

江東区は、木場の名残から運河も多く、「水彩都市」の名も掲げています。そんな彩（いろどり）のひとつに加われる、「すてきな水」になれるといいな、と思っています。

医事課

医事課は、事務長補佐以下入院係5名、外来係（業務委託）10名の総勢16名で業務を行っています。

受診受付を行う窓口業務、患者さんや健康保険へ診療費を請求する診療費請求業務が主な業務内容です。患者さんと最初に接する顔であると同時に病院の収入の大部分を扱う部署として日々業務に勤めております。

4月には入院係の職員が大きく入れ替わり、気持ちも新たに業務に励んでいきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

経理課

新年度になり、医師や看護師など、各職種に新しい仲間が加わりました。経理も2名、1名はグループ病院からの異動、もう1名は新規採用により、新しいスタッフを迎えることとなりました。

メンバーは変わってもこれまでと同様に、縁の下の力持ちとして、患者さんにより良い医療を提供できるように、診療部門をサポートしていきたいと思っております。

総務企画課

総務企画課は病院内のすべての部署と関係を持つ存在であり、病院全体を見渡し、管理者と各部署をつなぎ、病院全体を管理者の目指す目標に向かわせることが、総務企画課の使命です。

「総務企画課は何でも屋」のイメージがあり、総務企画課の仕事内容は一般的に「その他の部署では扱わないが、病院にとって必要不可欠な業務のすべて」。

非常に広範囲な業務に携わるため、業務を進める上で（1. 現場職員の目線に立つ。2. 現場と経営をつなぐ架け橋となる。3. 公正な視点を持つ。4. まずは自分の仕事をしっかりこなす。5. 会社のアクセラ、プレーキの両方を担う。）5つのポイントを大切にしていきたいです。

診療担当医一覧

令和1年8月現在


外来名		月	火	水	木	金
内科	午前 受付8:30~11:30	日比野 幸子 9:00	担当医 9:00	志水 健太 9:00	吉田 如彦 9:00	飯塚 玄明 9:00
		日下 敬太 9:00	関口 豊 9:00	辻 雄平 9:00	田中 顕道 9:00	佐藤 智代 9:00
		野田 和男 8:30	竹本 文美 8:30	竹本 文美 8:30	竹本 文美 8:30	野田 和男 8:30
		須田 理香 8:30	坂部 日出夫 8:30	坂部 日出夫 8:30	立石 晶子 9:00 【リウマチ】	坂部 日出夫 8:30
		大庭 健史 9:00 【糖尿病】	松田 寿久 8:30	野田 和男 8:30		浮地 里佳子 9:00 【糖尿病】
	午後 (予約のみ)	志水 健太	松田 寿久	辻 雄平	飯塚 玄明	日下 敬太
		内田 吉保		吉田 如彦	南郷 栄秀	田中 顕道
		竹本 文美		日比野 幸子	担当医 【禁煙外来】	宮内 淑史 14:00 【脳神経内科】
		大庭 健史【糖尿病】		東郷 眞子【糖尿病】	渡邊 秀美代【第2・4】 【内分泌・甲状腺】	
皮膚科 受付13:00~15:00		中村 理沙絵 13:00				
脳神経外科 受付13:30~15:30						池田 尚人/新井 晋太郎 【第2・4】 14:00
消化器科 外科	午前 8:30受付開始	清水 香 9:30	佐藤 裕一 9:00	阪井 守 9:30	阪井 守 9:30	西村 明浩 9:30
		西村 明浩 9:30	(交代制) 9:30	濱野 美枝 9:30		清水 香 9:30
	午後 13:30受付開始	阪井 守 14:00	萩原 義信【第2・4】 【予約】			
整形外科	午前 8:30 受付開始	斉藤 忍 9:00	中馬 敦 9:00	中馬 敦 9:00	仲澤 徹郎 9:00	太田裕彦【第1・3・5】 中馬 敦【第2・4】 9:00
		仲澤 徹郎 9:00	斉藤 忍 9:00	斉藤 忍 9:00	小林 倫子 9:00	小林 倫子 9:00
		神谷 光史郎 9:00	仲澤 徹郎 9:00 【第2週 佐々木】	小林 倫子 9:00	高橋 正典 9:00	神谷 光史郎 9:00
		佐々木理多/高橋正典 【第1・3・5】 【第2・4】	神谷光史郎 9:00 【第2週 高橋】	佐々木 理多 9:00	佐々木 理多 9:00	高橋 正典 9:00

●担当医の都合で休診の場合がございます。詳しくは、各科外来にお問い合わせください。

●赤は、女性医師です。 ●担当医師名の欄にある時間は診療開始時間です。

じゃんとんレシピ 21

ブロッコリーの タレタレサラダ



栄養量 (1人分)

エネルギー.....143kcal
たんぱく質.....6.5g
脂質.....8g
炭水化物.....10.8g
塩分相当量.....0.6g

材料(2~3人分)

ブロッコリー.....150g(約1/2株)
たまねぎ.....80g(小1/2ヶ)
卵.....2ヶ
スイートコーン.....20g
マヨネーズ.....大さじ2.5
レモン汁.....小さじ1
塩.....ひとつまみ
胡椒.....適量

作り方

- 卵は固ゆでにし、粗みじん切りにする。
- 玉ねぎは粗みじん切りにし、水にさらした後、キッチンペーパーで水気をとる。
- ブロッコリーは小房に分け、大さじ2の水を加え、耐熱皿に入れラップをかけてレンジ加熱してザルに上げて冷ます。
- ボウルにゆで卵・スイートコーン・★を入れてよく混ぜ合わせる。
- ブロッコリーを器に盛り④を上からかけて頂く。

健康ひとメモ

是非、お試しください!

野菜の中でも栄養価の高いブロッコリー。抗酸化ビタミンであるビタミンCは100gあたりなんと120mgも含まれています。さらに、ビタミンEやβ-カロテン、葉酸、食物繊維も豊富で血液・血管を若く保つ成分がぎっしりと詰まっています。具沢山のタルタルソースで美味しく、たっぷりいただけるサラダです。ブロッコリーの調理方法は茹でるのが一般的ですが、実はビタミンCは水溶性のため茹でることで半分以上に減ってしまいます。ブロッコリーに含まれるビタミンCを効率的に摂取するには、電子レンジなどで蒸し加熱するのがオススメです。また、ブロッコリーは茎にも栄養がたっぷり含まれています。皮を厚めに剥き、薄切りにすることで食べやすくなります。

病院のご案内

〒136-0071
東京都江東区亀戸9-13-1
TEL: 03-3685-1431(代表)
FAX: 03-3637-2739(代表)
URL: <http://joto.jcho.go.jp>

- 都営新宿線「東大島駅」大島口より徒歩8分
- JR総武線「亀戸駅」東口「水森」バス停から、小岩駅、今井、葛西駅行きに乗車「浅間神社」バス停下車 徒歩3分
- JR総武線「平井駅」都営バスにて東大島駅行きに乗車「小松川健康サポートセンター前」バス停下車 徒歩3分
- お車にて
首都高速中央環状線 船堀橋出口より5分
首都高速7号線 錦糸町出口より10分

編集後記

かつては金を貯め早期退職することが理想とされたアメリカですら、5人に1人が死ぬまで働きたいと考えているというアンケート結果があります。日本でも今人生100年時代に大きく舵を切っています。当院は“無病息災”でなく“一病息災”の方が出来るだけ長く元気に世の中のため、人のために貢献できる健康づくりをお手伝いしたいと考えています。今後とも東京城東病院をよろしくお願いいたします。(竹本)

